

出雲市公共施設等総合管理計画の改訂について

1. 改訂の趣旨

本市は、国の指針に沿って、公共施設に係る現況や将来の見通しの分析、保有量の適正化に向けた取組、施設の効率的・効果的な維持管理と長寿命化等を内容とした「出雲市公共施設等総合管理計画」を平成28年3月に策定しました。

本計画には、公共施設の保有状況や将来見通しのほか、公共建築物の保有量の適正化に関する取組として、延床面積の削減目標を設定しています。

このたび、計画策定から10年が経過したことから、これらの数値等を現状にあわせて更新するなどの改訂を行います。

2. 計画の基本事項等

(1)計画期間

平成28年度から令和27年度までの30年間

(2)対象施設

本市が保有する公共施設等

…公共建築物（学校、庁舎等）＋インフラ資産（道路、橋梁、上下水道等）

(3)総合的な取組の基本方針

- ・保有量の適正化
- ・施設の安全性の確保と長寿命化
- ・維持管理経費の縮減
- ・民間活力の導入

(4)これまでの経過

平成26年 国が指針を定め、全国の自治体に対し計画の策定を要請

平成28年 国の要請を受け、本市において計画を策定

令和4年 国の指針の改訂を受け、有形固定資産減価償却率の推移や過去に行った対策の実績等の事項を追加する改訂を実施

3. 主な改訂内容（改訂後の計画（案）は別冊のとおり）

改訂後の計画（案）は、重複的な内容を整理統合するなど、全体構成の見直しを行った上で、主に以下の項目について改訂します。

項目	主な改訂内容	計画（案） 該当ページ
① 公共施設を取り巻く現状	本市の人口推計や財政状況の数値を更新 ○人口推計は令和7年2月に策定した「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」における推計値に更新 ○財政状況は直近の令和6年12月に策定した「出雲市財政計画」における数値に更新	6～10 ページ

<p>② 公共施設等の状況</p>	<p>本市が保有する公共建築物の延床面積やインフラ資産の保有状況等の数値を更新</p> <p>○公共建築物の延床面積合計 (策定時) 約 84 万㎡ ⇒ (改訂後) 約 80 万㎡</p> <p>○市道等の延長 (策定時) 約 3,358 km ⇒ (改訂後) 約 3,380 km</p>	<p>11～16 ページ</p>
<p>③ 過去に行った対策と実績</p>	<p>前回改訂以降の取組の実績等を追加記載</p> <p>○出雲市公共施設のあり方指針に基づく見直し実績 (前回改訂時) (改訂後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃止又は使用中止 6 施設 ⇒ 8 施設 ・民間譲渡又は地元移譲 14 施設 ⇒ 19 施設 ・管理改善等 7 施設 ⇒ 8 施設 <p>○公共施設の耐震化実績 (前回改訂時) (改訂後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園 26 園、小・中学校 43 校で完了 ⇒ 全て完了 	<p>17～18 ページ</p>
<p>④ 将来経費の見通し</p>	<p>令和 8 年度以降の施設維持に係る経費の見込みを再計算し、数値を更新</p> <p>○公共施設等を単純更新した場合の将来経費 (令和 8 年度から 20 年間) の推計 (策定時) (改訂後) 4,353 億円 ⇒ 4,171 億円</p> <p>○計画的に長寿命化対策した場合の将来経費 10 年間の見通し (H28～R7) (R8～R17) 948 億円 ⇒ 952 億円</p>	<p>19～25 ページ</p>
<p>⑤ 保有量の適正化に係る数値目標</p>	<p>平成 28 年度から令和 7 年度まで設定している公共建築物の延床面積の削減目標値について、出雲市公共施設のあり方指針 (第 2 次) を基に、今後 10 年間の目標値として再設定。併せて、これまでの実績を記載</p> <p>○数値目標 (改訂前の目標を継続) 策定時における対象の公共建築物の延床総面積から 20% を削減</p> <p>○これまでの実績 (平成 28 年度～令和 6 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増床を含めた削減率 10.8% (目標 20%) ・増床を含めない削減率 23.9% 	<p>27～30 ページ</p>

4. 改訂年月

令和 8 年 (2026) 3 月